

県産酒類を活用した観光復活支援事業の実施結果について

1 要旨

広島県の酒類の認知度向上を図るとともに、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けた県産酒類の販売を促進するため実施した、県産酒類を活用した観光復活支援事業について、実施結果を報告する。

2 実施結果

(1) 実施概要

- ア 事業実施方法：県産酒類の購入に活用できるクーポン券を発行する事業者に対し、必要な事業費を補助
- イ 発行主体：広島県酒造組合
- ウ 事業実施期間：令和4年10月7日～令和5年1月31日
- エ クーポン券発行枚数：1人あたり2,000円分×30万枚
- オ クーポン券配付対象者：対象の県内宿泊施設（161施設）に宿泊した20歳以上の県内外在住の旅行者
- カ クーポン券配付方法：宿泊施設において対象者に配付
- キ クーポン券取扱店舗：酒販店、土産物店など県内172施設
- ク 予算額：6億6千万円（国庫）

(2) 事業実績

宿泊施設や販売店などの関係者から、誘客や販売増に繋がったとの声があり、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けている県産酒類の販売促進や観光客の誘客促進に効果があったと考えている。

- ・クーポン券配付枚数：225,869枚（配付率75.3%）
- ・クーポン券利用枚数：169,504枚（利用率56.5%）

3 事業実施後の対応

次のとおり県産日本酒等の消費拡大に向けた取組を実施している。

- ・ひろしまブランドショップT A Uの外販機能を活用し、県産日本酒をはじめとした県産品の魅力を県内外に発信する即売会「G7広島サミットキャラバン」を全国31都市で実施
- ・T A Uにおいて、G7広島サミットを契機とした県産日本酒のPRを目的としたフェアを開催（5月15日～6月4日）
- ・県産日本酒のブランド価値向上と消費拡大のため、広島県日本酒ブランド化促進協議会の活動として、フランスを中心に県産日本酒のブランド化と輸出を促進 など